琉球大学学術リポジトリ

新聞切り抜き：人口問題関係

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2018-04-16
	キーワード (Ja): 矢内原忠雄
	キーワード (En): Yanaihara Tadao
	作成者: -
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38360

矢内原忠雄文庫

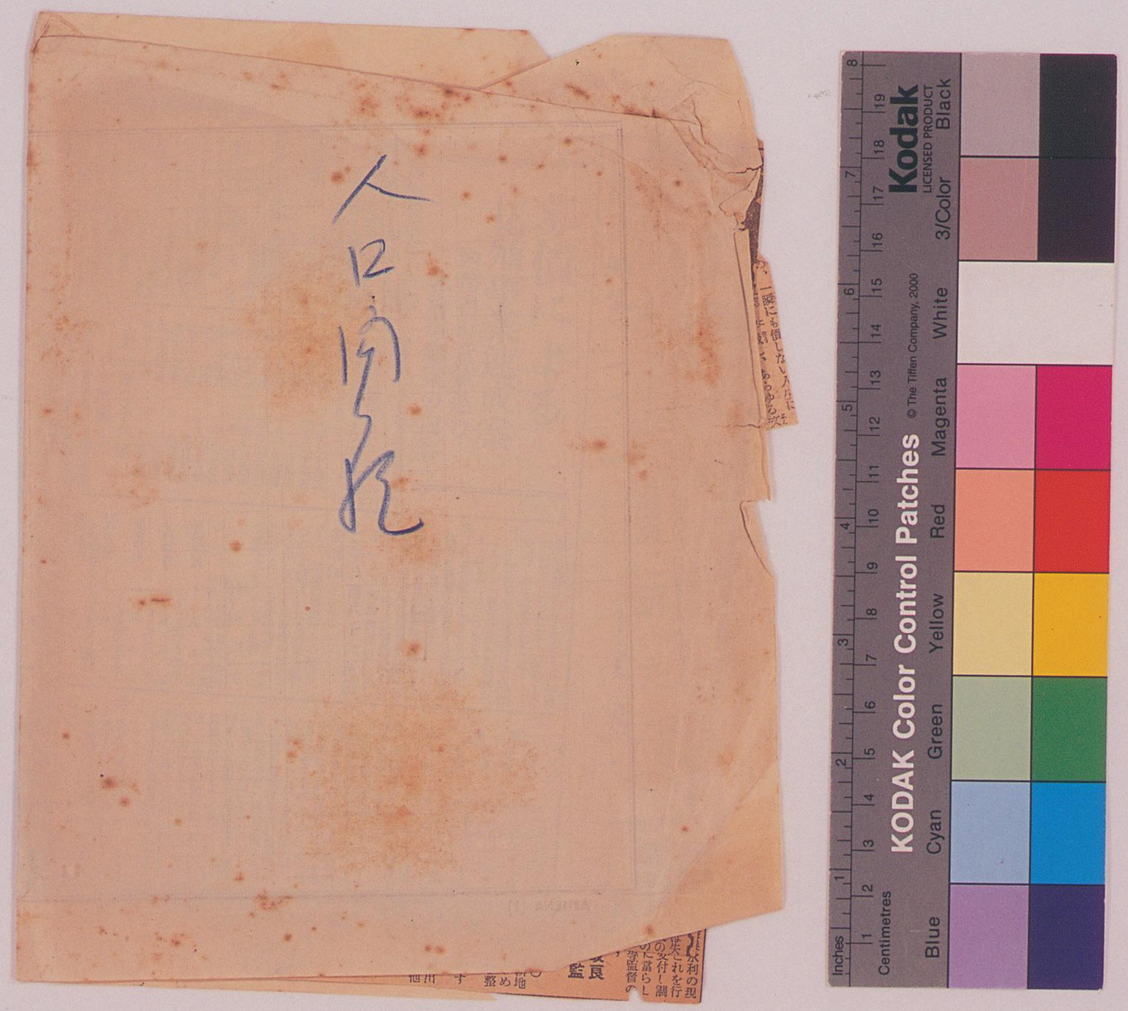
史　料　名	新聞切り抜き［人口問題関係］
封筒番号	491
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 21 日
撮　影　者	富士写真フイルム　株式会社
備　　考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 491

史料名	新聞切り抜き[人口問題関係]
資料形態	新聞切抜
枚　数	8
頁　数	16
縦（cm）	
横（cm）	
厚さ(cm)	
書誌的事項	植民 新聞記事を包んだ原稿用紙に「人口問題」と書いてある 今泉分類記号： P

琉球大学附属図書館



1／12

この數字を見よ

過去一年の出生二百十余萬 自然增實に九十四萬三千人 發表された人口統計

（詳報）

下條内閣統計局長談

昨大正十五年（昭和元年）の帝國内地における人口動態につきてはさきにその概況を御表したがこの程調査が完了したので官報をもつて公表するに至つたその概要を述べるこゝ次の如くである

結婚　婚いん件數は五十萬二千八百四十七件人口に對する割合は千に付人・三一件で昨年より件數において一萬八千五百九十一件増になつて○・四二件を減少して居る婚いんの割合のもつとも高かつたのは大正九年の九・七六件これに次ぐは目露戰後明治四十一年の九・三五件であつて明治四十一年までは一高一低の狀態にあつた以後漸次減少する傾向を示した然るに大正七年から急に增加を見た年の高率ミなつたが十年以後は復減少する傾向があるヨーロッパ諸國最近の婚いん率に較べるとベルギー、ハンガリー、フランスが人口千に付八・八件以上で我國より高いが他の諸國はいづれも低い

離婚　離婚件數は五萬百十九件人口千に對する割合は○・八三件であつて前年より件數千五百六十八件増○・○四件を減じて固る父婚んん千に對する離婚の割合は九・九七で前年の九・九一に続いて○・六の增加である我縁婚率は明治三十二年以降大正八年まで人口千に付一件余であつて大正九年以後一件を降り減少を續けて居るがこれをヨーロッパ諸國の離婚率に較べると いまだ遙に高きを免れない

出生　總數二百十萬四千四百五人中男百八萬千七百九十六、女百二萬二千六百十一人、男女不詳一人であつて總數において一萬八千三百十四人を增加して居る人口千に對する出生の割合は三四・七七で前年に較べると〇・一五低い又男女の割合は女一〇〇に付男一〇五・八で前年の〇・三を增加して固る既往二十余年間における出生は明治三十九年の例外を除いては常に人口千に付三〇以上の高率にあり四十四年の如き三三・九八であつたその後は概して低下のすう勢をたどり大正八年には急に三六・一に下つたが翌九年には急に三六・九の高率を示した十年以後は多少のゆ下はあるが大體人口千に付三四内外を示してをり本年は三四・七七で昨年よりやゝ下つて固るヨーロッパ諸國最近の出生率はいづれも三〇以下で我國より遙に低い

死産　死産の總數は十二萬四千三十八で内男は六萬七千五百六十二、女五萬六千百卅六、男女不詳三百四十である總數において前年より三百六十五減少し人口千に對する割合は一・〇五であつて出生および死産即ち分べん總數の五分六厘に當り兩性の割合は女一〇〇に付男一二〇・四に當つて固る明治三十二年以降人口千について三・〇以上であつたが漸次減少の傾向を示して固るヨーロッパ諸國はいづれも一・〇〇以下であるから我國の率は諸國に較べて遙に高いのである

死亡　總數百十六萬七百三十四人で内男五十九萬七千二百九十二人、女五十六萬三千四百三十五人、男女不詳七人であつて前年より四萬九千九百七十二人を減少した人口千に對する割合は一九・一人で前年より一・〇九低い然して男女の割合は女一〇〇に付男一〇・〇に當つて固る我死亡率は多少の例外を除いては常に人口千に付二〇以上であつて本年の一九・一人は既往二十余年間に未だ曾て見ざる低率であるヨーロッパ諸國最近の數字に較べるとスペインが一九・四で我國よりやゝ高い外はいづれも我國より遙に低い

自然增加　死亡に對する出生の超過即ち人口自然增加は九十四萬三千六百七十一人であるがこれを大正十五年昭和元年の屆漏れすあつて將來層出らべき數を從來の數字から推計してその出生超過を見積るときは優に百萬を超えるであらうしかして右增加を從來の最高であつた前年の八十七萬五千三百八十五人に較べると約六萬千七百九十七人を增加し人口千に付一・二四人の高率を示し大正七年以後漸次減少の傾向を示すに至つたが大正九年の高率ミなつたが十年以後は復減少する傾向があるヨーロッパ諸國の最近の出生率に較べるといまだ遙に高きを免れない

結婚　婚いん件數
出生　總數
死産　死産
離婚　離婚
死亡　死亡

結婚	五〇六・八九三	一・二四
出生	二・一四五・五五七	一二四・四九一
死産	五〇・四七二	一・二九
離婚	一・七九・七八五	一・二四
死亡	一・七九・七八五	一・二四

百八十五人に較べると尚六萬八千余多く

人口千に對する割合は一・二五・五六九に付前年の一・四・六五に較べると〇・九・四高い、我國人口の自然增加は今日まで大體に增加の傾向を示しつゝ來た即ち明治三十二四年の初年には七十萬人を超過するに至つたが大正七年は流行病による死亡激增ため前年の數にもおよばなかつたが大正九年には六十萬人に復し以後漸次增加し本年は九十萬余ミいう驚くべき數字を示すに至つた本年の自然增加が多かつたのは出生の增加と死亡の減少が國の最近の自然增加率はオランダが人口千に付一四・五で我國の率にやゝ近いが他は何れも遙に我國より低い以上に附解古尊標太南洋群島關東州および外國出生、死産、死亡を加へた帝國人口動態統計の總數は左の通りである

結婚	五〇六・八九三
出生	二・一四五・五五七
死産	一二四・四九一
離婚	五〇・四七二
死亡	一・七九・七八五

募債による拓殖事業速成案

内務省が意氣込む 北海道廳案の内容

北海道拓殖事業促進のため拓殖事業費を繰上げ施行する案はさきに廳田北海道長官から政府に提出してあたところ大藏省は公債發行には反對して居るが且つ北海道に赴任中の廳田長官は十一月早々上京し廳案の其後に勞めるはずで内務省又廳田長官案を妥持し何時要求をなすべく政友會はこれを極力後援する樣で大藏當局も出來る樣にしつゝあるがその案は左の如くである

北海道第二期拓殖計畫は昭和二年度以降二十ケ年間に總經費九億六千三百三十七萬圓を支出する豫定であるがその財源は北海道内における毎年度の歳入剰餘額を限度とする故に初期における事業費の支出額少きに失し遺憾の點少からざるをもつて左記要項により拓殖の促進を計らんこゝす

一、昭和三年度以降十三ケ年にわたり次の年割をもつて拓殖事業公債を發行すること

昭和三年度	一千五十萬圓
同四年度	一千三十萬圓
同五年度	一千百萬圓
同六年度	一千二百萬圓
同七年度	一千二百萬圓
同八年度	一千二百萬圓
同九年度	一千二百萬圓
同十年度	一千二百萬圓
同十一年度	一千二百萬圓
同十二年度	九百萬圓
同十三年度	八百萬圓
同十四年度	六百萬圓
同十五年度	五百萬圓
計	一億二千六百八十萬圓

二、公債元金は昭和三年度以降拓殖計畫終了の年まで十九ケ年間で償還すること

三、公債の元利償還財源は北海道における一般會計歳入剰餘額をもつてこれに充つること

四、公債財源によりくり上ぐべき事業は拓殖促進上もつとも急要と認むる左の數項目とし之の内開こん助成費に私設鐵道および軌道助成の既定計畫修正並に事業くり上げに伴ふ經費增減の結果により拓殖費總額に對し**二千八百八十六萬圓を增加**すること

（1）港灣の修築はその豫定いづれも長期にわたり拓殖の進行を防止し延しく不經濟の結果となるを以つて左表の如くこれが完成年度をくり上ぐること

區分	既定	改定
	着手年度	完成年度	着手年度	完成年度
厚岸築港	一	九	三	四
小樽築港	四	九	三	四
室蘭築港	七	八	三	五
釧路築港	一	五	一	五
稚内築港	一	九	一	八

（くり上げ五ケ年）
（くり上げ三ケ年）

（2）道路を少くも一ケ年新設百五十哩以上に增加すること

（3）私設軌道六百五十五マイルの金額開業期は二十ケ年を待たず前者は十ケ年後者は十二ケ年に短縮せらるべしとつてその補助費をくり上げるの必要あり

（4）廳田長官は既定計畫設定年一萬七千町歩乃至一萬七千町歩にくり上げるの必要あり又原野の開拓助成を盛田奬勵と同じく一ケ年六千町歩乃至七千町歩の豫定を二萬五千町歩に上げくり上ること次に移民奬勵一ケ年二百戸の豫定を少くとも一ケ年一千八百戸以上にくり上ぐること

（5）國岸工事の施行一ケ年五千間の豫定を一萬間に增加もつて年々增加する水害に備ふるの要あり

漁港	岩内	（くり上げ一ケ年）
	釜市	（くり上げ二ケ年）
	鹿尾	（くり上げ二ケ年）
港灣	天賣	（くり上げ一ケ年）
各漁港		（くり上げ三ケ年）

閣議に訴へた滿蒙開發案

閣僚もほゞ容認す

山本滿鐵社長の改革意見

山本滿鐵北支社長は卅一日の閣議席上において滿蒙開發策に關する所見を開陳したがその要領は左の如くであつた

一、滿蒙における諸種の**文化的施設を制限してその經費を產業的施設に振り向ける**こゝ、即ち滿蒙における文化獨設は滿鐵が自ら年々投じた資本金約七億五千萬圓中二億五千萬圓および關東廳において學校、病院その他の施設に要する經費は二千七百萬圓の多額に上つてゐるこの巨費は在滿世萬の國人のために施設されるのであるがかくの如く亂費される經費の使ひ方は內地なりにおいてはその例を見ない、よつてこの方面の費用を節減し線道の敷設費その他に充當する方針である

二、內地產業を壓迫するやうな產業は滿蒙では斷じて奬勵せぬ即ち從來滿鐵および關東廳等は單なる學術的の見地から內地產業の開發なさこゝ、ふこゝは眼中に置かずこれと關係の立場に置かれる樣な場業も奬勵してゐるその一例は柴の栽培の如きである かくの如き事業は根本的に中止し滿蒙獨自の事業を計畫奬勵する、撫順炭坑その他で從來八百萬トンを三百萬トン增加して一千萬トンとし滿蒙開發のために使用する、そして內地へは移入せぬ方針である

一、在滿日本人を保護する見地から內地からの移入品を安價に賣りさばくこゝの出來るやう商業助成金の制を設け南人に對し資金の貸付又は補助

一、北滿地方の開發に對しては特に注意を拂ひ同地方に適する農產物を選び同地方面から移住して來る約六十萬人に近い勞働者をして開こんのこゝに當らしめもつて日本の食糧問題解決に資するこゝ、即ち北滿にあはを栽培しこれを朝鮮に移入して朝鮮の食糧とし解米をなるべく內地に移入するやうにする

一、鐵道用地買收の完成を急ぐこゝ

一、能率增進調査務員を挨つて滿鐵の職制および滿鐵直營の各種事業に對し根本整理改革を斷行すること

その他十數項にわたるもの外後日見を述べたが閣僚の多くは、わが滿蒙開發の見地から大膽賛意を表してゐた

月々僅か二圓五十錢
虛飾を避け清楚優美
爲べき廉價得がたき附錄
錄圖版は他で得難いものばか
殊に半模型式人體解剖圖、國
、日本地質圖、四季星座等は
でも十圓以上の價値がある。

▲東京帝國大學理學博士）▲大陽
化學の驚異（松野理學博士）
（陸軍理學士）▲月井上東京天文
（陸軍理學士）▲宇宙の構造（神理學士）
▲四季の星座（小川東京天文臺技
手）▲湖沼奇談（田中子爵）▲地球
の過去と未來（石井理學士）▲海の
不思議（丸川水産講習所技師）▲天
氣像報の常識（根岡長野測候所長）
▲植物の生活（恩田理學士）▲海の
植物（岡村理學博士）

人類學（早大講師 四村眞次）
人体の構造（醫學士 安田德太郎）
作物の病氣（農學博士 栃内吉彦）
汽車と鐵道（工學士 玉機市三）
飛行機と飛行船（工學士 和田小六）
パルプと紙（工學博士 小澤武）

見本申越次第進呈
一月六日限
略規
體
裁
▲申込金壹圓▲毎月會費金貳圓五拾錢▲全額一時拂金參拾五圓（申込金不要）▲送料一册につき八錢▲十二月上旬より毎月一册宛刊行十五ヶ月完了
▲本講座は會員にのみ頒つ▲全十五卷菊判各三百餘頁▲總紙數四千六百餘頁▲彩色石版三色版別刷寫眞版▲挿圖毎卷百數個

東京市麻布區霞町一番地
電話番號三番二八八番三八六番
東京五二一九八番
國民圖書株式會社

革命十周年記
ロシヤ革命は今正に其十周年
つたか又は失敗であつたか。本書
て知られてゐる。革命ロシヤ
極む。ロシヤ革命の原理と其
ヤ革命の正史である。共産主義の
べきである。
内容 革命運動の第一歩——
十一月革命——
内亂終息の
清政策——

日本佛教新聞社長 眞繼雲
冥途の旅日記

奇勝を探ねて 房總の濱廻り 理學博士脇水鐵五郎
瀧の不思議な物語 理學士渡邊千里
虫を尋ねて蓬萊島へ 農學博士横山桐郎
高山の湖沼 田中阿歌麿
風景美論 石原純
鳥の日光 黑田長禮
追分節の忍路灣 菅野利助

科學小說 人間の卵 醫學博士 高田義郎
本誌獨特實用
▼最新科學ニュース
▼八月星座早見
▼活動寫眞機の原理
▼水上自轉車の原理
▼模型電動機の作方
▼模型機關車の作方
▼發明相談室
東京市麻布區霞町一ノ一九
電話番號六十五番
振替貯金口座東京二四四七番
科學書報社

◇實用工藝叢書◇
【1】織物仕上法 足利高工教授 池田伊介氏著 定價一・八〇 送料一〇
【2】織物製造法 齋藤俊吉氏 八木郁一郎氏 定價一・三〇 送料一〇
【3】紡織原料學 齋藤俊吉氏 大住吉八氏著 定價一・六〇 送料一〇
【4】纖維と精練漂白 西田博太郎氏 馬淵七左氏著 定價一・八〇 送料一〇
【5】內外綿織物製造法 假野知次氏 相田計太郎氏 定價一・〇〇 送料一〇
【6】織物用絣と糸染法 吉武榮之進氏 小柴造治氏著 定價一・二〇 送料一〇

家庭醫學講話
第四篇 醫學博士 小田俊三氏著
四六判洋裝四百頁 定價一・八〇 送料一〇
第一篇 傳染病入門 第二篇 呼吸器病の手當 第三篇 家庭看護學
消化器病の最新療法
榮養學と胃腸の强健法
新刊書 博文館
東京市小石川區
振替東京二四〇

千五卷▼
とする
用識なき
る。故に
國民とし
しかも科
一般人
ぎた。
實業

國學院大學長 文學博士 上田萬年
國學院大學 教授 松本烝治
文部省 編輯局長 吉田熊次
文學博士 桑田芳蘇
新理學博士 中島力造
皇典講究所 講師 芳賀矢一
國學院大學 教授 上杉慎吉
皇典講究所 講師 芳賀矢一
國學院大學 教授 上杉慎吉
「ノーシン」

地獄
西著
四六判布裝
地獄極樂
定價壹圓五

明、初めて地上に開顯せらる
觀 俗通 各宗經典

人口食糧問題 答申案成る

昨日の委員總會で決定したその内容

人口問題

移動の原始調査に関する方策

一、人口の移動に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

二、移動の原因及其の結果に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

三、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

四、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

五、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

六、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

七、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

八、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

九、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

十、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

内外移住方策

一、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

二、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

三、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

四、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

五、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

六、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

七、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

八、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

九、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

十、移住に関する調査は人口問題の重要なる一部門なるを認め之が調査を速に開始すること

食糧問題

甲 農産食糧品の生産増進に関する方策

第一 農産食糧品の生産を増進すること

第二 農産食糧品の生産を増進すること

第三 農産食糧品の生産を増進すること

第四 農産食糧品の生産を増進すること

第五 農産食糧品の生産を増進すること

第六 農産食糧品の生産を増進すること

第七 農産食糧品の生産を増進すること

第八 農産食糧品の生産を増進すること

第九 農産食糧品の生産を増進すること

第十 農産食糧品の生産を増進すること

乙 農産物の輸出増進に関する方策

第一 米穀の輸出を増進すること

第二 米穀の輸出を増進すること

第三 米穀の輸出を増進すること

第四 米穀の輸出を増進すること

第五 米穀の輸出を増進すること

第六 米穀の輸出を増進すること

第七 米穀の輸出を増進すること

第八 米穀の輸出を増進すること

第九 米穀の輸出を増進すること

第十 米穀の輸出を増進すること

丙 耕地の保護に関する方策

第一 耕地の保護に関する方策を講ずること

第二 耕地の保護に関する方策を講ずること

第三 耕地の保護に関する方策を講ずること

第四 耕地の保護に関する方策を講ずること

第五 耕地の保護に関する方策を講ずること

第六 耕地の保護に関する方策を講ずること

第七 耕地の保護に関する方策を講ずること

第八 耕地の保護に関する方策を講ずること

第九 耕地の保護に関する方策を講ずること

第十 耕地の保護に関する方策を講ずること

人口問題を無視する

昨年十二月後の調査

東京市の人口

東京市の人口は昨年十二月後の調査によると…

東京市の人口

東京市の人口は…

東京市の人口

東京市の人口は…

人口食糧問題調査

初委員會開かる

九月より部會で審議に決定

まづ諮問事項二件を提示し

諮問事項

一、食糧問題に関する対策殊に我国の現状すと認む急速実施を要する方策如何

二、人口問題に関する対策殊に我国の現状すと認む急速実施を要する方策如何

聞報日日東京 (日曜日) 昭和十年九月十日 (二)

英國

米國の態度から

然歸國す

讓歩の必要に迫らるため

【ジュネーヴ本社支局十九日發】 イギリス全權ブリッチマン、セシル兩氏は本國政府と打合せのため二十日午前五時二十分出發パリを經て同夜十時ロンドン歸還に際し(略)の旨米國全權に通知して來た、若し(略)せばは巡洋艦問題についてのアメリカの主張が極めて強硬で日英共同案に同意せず從つてこのまゝでは會議は決裂の外なき故アメリカに對して讓歩する必要があり如何なる程度に日英案をつてこのまゝでは會議は決裂の外なき故アメリカに對して讓歩する必要

二十日
夕刊一部定價金二錢
編輯兼印刷人 東京市麻布區本町
發行人 東京市麻布區有栗町三丁目一ノ二
東京朝日新聞社

番よい酒 サワカメ
合名會社
東京出張所 東京市麻布區本町三丁目一ノ二
電話神田七九番

日獨通商

TOKYO NICHI-NICHI SHIMBUN.
(日曜月) 第一八八三千三百九十九號 B 日九十月

夏目漱石 吾輩は猫である
夏目漱石 行人
夏目漱石 漾虫
宇野彌太郎 增訂補正 西洋料理法
宇野彌太郎 實用西洋料理法
宇野彌太郎 實用日本料理法
宇野彌太郎 病人食物調理法
宇野彌太郎 實用西洋料理法
赤堀峰吉 實家庭 日本料理法
赤堀峰吉 實家庭 十二ヶ月料理
赤堀峰吉 實家庭 鶏肉鶏卵料理
赤堀峰吉 即席 惣菜料理
富田輝夫 實用染色工藝
仮塚まつ代 メートル法新裁縫書
伊澤峰子 實用 小兒洋服裁縫全書
新井くま子 實用ミシン裁縫全書
高遠伊田麗 久保文子子著 增訂補正 裁縫おさいくもの上卷
高遠伊田麗 久保文子子著 增訂補正 裁縫おさいくもの下卷
茶本義子 增訂補正 家庭編物全書
唱歌動作遊戯
青い目の人形
十五夜お月さん
學校舞踊
學校舞踊

難生セル國漢文辭典ヲ見ヨ!!
模範國漢文辭典
「三省堂ノ國漢文辭典」ハ小學上級並ニ中等學校初級用ニ最適當ノモノトシテ全國各學校ヨリ每年多數採用ヲ得テ居タガ震災後自然絶版トナリ各方面折角ノ注文ニ應ジ兼ネ遺憾トスル處デアツタ、茲ニリ震災後久シカラズ之ガ再刊ノ計畫ヲ起シタガ單純ナル復活ニ滿足セズ新シイ時代ノ要求ニ應ズル爲メ編輯法裝幀法ニ大改善ヲ加ヘタ爲メ數年ノ努力ノ結果比類無ク新味溢ル

業務用器械 黒澤商店
インターナショナル カード タイム レコーダー
電氣式 スプリング式
東京麻布區本町 電話麻布一六三八

壮眼水 ヨクキク 各五四

改正 日本工場法 就業制限論
附國際勞働條約案正文(獨逸原文對照)並日本新舊法
法學士 松澤清著
工場監督官 辯護士
菊判洋革裝 價入九百貫 金七圓五拾錢 郵送料內地共六錢
發行所 東京麻布 有斐閣 振替東京三七〇番

謠曲地拍子精義 第八版 (全一冊)
(定價金六圓・送料廿四錢)
金春流太鼓手附 天の卷 一冊
(定價金五圓・送料金八錢)
新編狂言正本 第五卷 一冊
(定價四圓五十錢送料四錢)
實生流謠曲正本 半紙本・中形本・袖珍本
自由選擇・特價提供・會員募集
各宗家選曲小謠入新年扇 發賣

新刊案内 (十二月發賣)
本書は多年の苦心の結晶にして論述の周密なる所以は
◇改正の要旨……條約案條外法案
◇改正の要旨……條約案條外法案
◇行政例規と疑義の批判
◇法理的考察……既に法案無解例外論と立法上の所見は本書の眞髓とす
一大著述なり。
特色
新刊 各國工場法制 (第一編)
最新刊
靖國工場勞働制限制 菊判全一冊 金八拾錢 送料金十二錢
東京市日本橋區通四丁目六 株式會社 つゝ屯 (電話京橋一四一)

物語日本史

卅ケ年間にわたる
大食糧増殖策
けふの人口食糧調査會に提出した農林省原案（上）

人口食糧問題調査會第二回總會は十三日午前九時より首相官邸に開かれ人口食糧問題に關する農林省事務當局から提出さるべき『卅ケ年間に亘る食糧増殖方策』に關する諮問案について審議に入つたが、この原案は（一）耕地擴張（二）畜産物並に（三）水産物の三大部より成り實に わが國空前の大規模なる助成計畫である、左にまづ『農産物の部』の原案内容を紹介する

（一）耕地擴張による食糧増殖方策

イ、大規模開墾國營の實行規模

（經費四四七、四八〇千圓）

主要大工事部門用排水幹線等の工事を國營とし開墾工事は民營にて行はしめこれを開墾助成法により助成し移住民は自作農たらしむるの方針にて處理せんとす、しかして大規模開墾計畫の五千町歩もこれを倍加し毎年一萬町歩廿五ヶ年間に廿五萬町歩の實行に着手するとを要す開墾地は五百町歩以上の集團地たるを原則とするもこれを有せざる地方に對しては例外を設くるものとす

ロ、一般開墾事業奬勵方法改善

（經費六三四、七〇〇千圓）

（一）土地利用計畫の改進（大正七年より着手せる事業）土地利用計畫は從來事業方法損益等に關する計畫の調査を完遂するを目的としこれが實施改計は地方の力に任せたるも多年地方よりの要望もあり且また開墾助成の方法もこれを改進し大いに開墾事業を促進せんとする針なる計畫の樞要に止まらず實施をなすに資する計畫を樹て事業の促進をはかりんとす

（二）開墾助成の促進　現行助成を改進し利息補給の方法を廢、毎年巡回の支出總事業費に對し年々相當の助成金を交付するとに改めたる點等にてその主要工事を施行するものについてはその助成金を交付するとに共に一層指導監督を周密にせんとす、昭和三年度以降毎年一萬八千町歩へ增加施行の分一萬町歩へ約起工し昭和卅一年度までには五十二萬町歩を起工、内成功面積四十七萬七千町歩を得るとす

（三）五町歩以下の開墾奬勵　五町歩以下の開墾はその施行面積漸次減少の傾向あるをもつて、當補助金を交付し少くも將來の施行面積を維持するの方法を講ずる要あり

（四）開墾事業に關する資金の供給　耕地改良と共に相當多額の低利資金を供給する要あり

ハ、開墾地移住奬勵方策の徹底

（經費一五五、三七六千圓）

第一　開墾地移住奬勵金の增額　補助物件　開墾當初の農具、經費上必要缺くべからざる農具、肥料、種苗及家畜の購入費に對して補助す

二、補助の方法　從來は府縣費負擔ある場合開墾助成區に限り補助するを原則せるも、將來は府縣費負擔の有無にかゝわらず補助するとし尚助成地に限り以外の開墾地移住者に對して補助するとす

第二　開墾移住者の奬勵　世帯組織を組織せしめ家屋その他建造物の建築または土地の開墾及び金融に關する事項に關つき移住者を保護する

第三　開墾地移住及び經營に關する指導場の設置　全國に廿ヶ所、田四ヶ所の開墾地を選定し移住經營に關する指導を設置し、機力・畜力の利用により可成廣保同じて比較的大面積の開墾地を經營する新方法に定し移住經營に關する指導を設置し、機力・畜力の利用により可成廣保同じて比較的大面積の開墾地を經營する新方法に

第四　開墾地移住奬勵及經營指導監督のため專任職員を設置し

1 開墾地移住奬勵金處理

2 開墾地移住組合奬勵

3 開墾移住斡旋

4 移住者に對する賃貸、賃借、賃料、賃貸料に關する事務の處理

5 開墾地に關する諸般の調査研究

6 農村人口の分布狀態、耕地面積と農業者の過不足狀況との調査を行はしむ

ニ、用排水幹線改良工事補助範圍の擴張

（經費八七、九九七千圓）

今後補助すべき集團地開墾五百町歩の制限を三百町歩に低下し以つて用排水幹線改良を促進せんとし、かゝる面積は七千八萬三千町歩に達し、内訳は一萬七萬町歩列車業に着手するものとし十二ヶ年を以つて終了す

ホ、耕地の改良整理事業の促進

（經費一九一、四〇〇千圓）

一、耕地整理に對する府縣補助金は工事費の一割五分内外、國庫補助は百分の三分内外にすぎざるを以つて地方財政の事情をも考慮し主として國庫補助金を增加せんとす

二、暗渠排水施設に奬勵金を交付せんとす

ヘ、耕地擴張改良用機械の利用奬勵

（經費三三、三八〇千圓）

管理所の擴張及び機械類の增加、淺渠鋤、製藁鋤、コンクリート混合機を購入貸與す

ト、災害地の復興

（經費四五、三一六千圓）

天災により荒地となる面積は年々約六七千町歩を算し激甚なる部分は平均三町歩を算し激甚なるべく、この災害復興耕地に對しては現行府縣の災害土木費國庫補助の制度に準じ新たに災害耕地復興奬法を創定して準據するところを明かにしこれ補助金の制度をたつるとす

チ、農業用新用水源及び現在用水費調査

（農業水利法創定促進の方法に關する經費一、五二二千圓）

新用水源に關しては速にこれが大調査を遂げ資料を備へ置き事業の發達面他の水利事業との調和に資する要あり、これを行ふには地方に補助金を交付し調査員を任用してその任に當らしむるとと共に中央に指導監督の設備を設けしむる要す、現在用水に關しては關係地域を一關として相當長年月にわたり組織的に調査を遂げ農業水利の現狀を明かにするを要すこれを行ふには地方に補助金を交付し調査員を任用してその任に當らしむるとともに中央に指導監督の設備を設けしむるを要す

リ、耕地の擴張改良事業に關する指導監督機關の整備

（經費一〇二、六七二千圓）

一、中央に耕地局を設けて耕地擴張に關する事項を管理せしめ技術及び事務にわたり職員を整備す

二、機關を以て地方廳に配付する官費を整備す

三、全國を數區に分ち耕地調査用溜所を設け直接事業計畫その他の事務を分擔せしむ

毛織物關税の引上陳情
各種倍額に

日本毛織毛工業團体代表者は毛織物關税の引上げにつき十二日陳情書を出、内訳、梳毛糸は從價二割五分、毛糸從價二割、トップ同二割五分、毛織物從價二割五分、毛織物は毛織物に對しては從價二割五分、毛糸從價二割、トップ同二割五分、毛織物從價二割五分、毛織物は毛織物從價平均一割三分、毛糸從價平均九分、トップ從價平均五分であるから當業者の要望はこれを倍額引上げ陳情はこれに引上げたいとふにある

人口問題解決のため
國際會議開かれん
八月卅一日より九月四日までジュネーヴにて

【ジュネーヴ電通二十一日發】來る八月三十一日より九月四日までジュネーヴにおいて國際聯盟總會に先立ち國際人口會議が開催されるとなつた右會議招集の趣旨は專門家の意見を徴し今後三年間に人口は經濟の增加等をもつてすれば約八十億に達し地球の包容力はこの數字をもつて最大限度とされたその論に基きその對策を講ずるためである、會議出席は各國の主なる社會學者および專門家で討議事項は人口增加に伴ふ職業および食糧問題の解決であるが將來の國際經濟會議において移民問題が解決されたとは世界人口の移動に對し大なる影響を與へるものであるその理由によりその問題が今回の會議に上程されることになつた、會議はイギリス助産婦協會長バーナード・マレット氏が主宰し加國はほとんど世界各國を網羅するものと見られて居る

文第三等 ……24

の宣言書

濱部壽次

す。一種のヒステリシスです。六百度でまだ鍛んになります。零下にもこのヒステリシスがないとはいへませぬ。もしあれば、そこでは物をあまり早くは冷やさぬのです。液體空氣までその間にはその氷ばかりで鎔物の型が出来るわけです。それへ震動式でも應用すれば無數飛切りの鎔物が出来ます。

さう鼎形に鎔をつけてはいけませぬ。こちらの法式を應用すれば日本國より太發明が、秋の田のいなこのやうに飛び出さざるを得ないのです。

六〇 選ばれたる者

天には無數の星があります。地球にその中の一つです。日は燦々しく輝き、月は蒼白の玉夫を見せます。山は青く、水は嬉く、雲は移り、虫は鳴く間に、萬物の變化の大集成にひたりつゝある我等は、眞に受け難き人身を受け、悉ひ難き理法に遇ひ得たことを感謝せずにはをられまぬ。

同じ物の中に進化するものと經過の、一瞬にも個上なる人生によく現實を呼吸し、あらゆる變化の大集成にひたりつゝある我等は、眞に受け難き人身を受け、悉ひ難き理法に遇ひ得たことを感謝せずにはをられまぬ。

帝展作品 峠の冬

（川倉玉雲氏作）

寒い國の深い山に住る爺は平野や都地などで見るものとはたゞほど違が違つてゐる、それは冷たい冬の樣を白くしない、玉雲氏が寫した蓬莱山のある一角に見る爺もそれである、近くに見える山も、肌は白く雪におほはれてゐながら、點々として茶色が浮いて見えるのは雪をかづかない樹木の褐のためである、それより もさらに遠い山々は灰色の空と溶け合つて、朧ろにかすんでゐる雪深き山のさうした風物を描いて作者の筆は靜かに冴えてゐる。

植物（一）

植物が多いか

士 三好學

沖で、瀬戸内海の西部にある瀬戸、千珠の二つの島も同樣に溫地に富んでゐる。

◇これ等の島は何れも溫地であるために、古來樹木がよく保存されたのであるが、これと同じく厳島の彌山も厳島神社のあるために、山林の主な部分が比較的天然狀態を保つてゐる。

◇その他瀬戸内海の沖の島、宮崎縣の青島、鹿兒島縣の志布志湾櫻島なども同樣に島の中、物産鑑が、付近の陸地におけるものと著るしく違つてゐるが、蔡しこれ等の島の植物の種類は必ずしも厳島に寄てはない。ただ付近の陸地に一寸見られないものが多いだけである。

◇厳島陸地では人の作用で天然の狀態が早くから變り、從つて林相も變化したが、島では昔からの植物が比較的よく保存されたためである。

◇生島を初め、例と

田淺 洋服店

御註文品は御滿足を期します

高級低製品豐富陳列

御田小川町

上げ、沖の船は遠霧に霧笛を鳴らしてゐる。

從つて、「櫻川」で櫻姫に物語すべき雰囲気は、多少の雰囲気にはまつて妙なる味は出た。あの台本と雖も、筋は組立前白い。吉右衛門の演技も特に非難すべきものは殆い。唯、南北物、南北作といふみだけに、その幻影の不足をいふ迄もなく、氣魄としても、南北物は、長い手、長い顔、大きな目玉、太い聲、太い等を必要とするからである。

○…時藏の櫻姫は大變ないい役だ。清玄より儲かる役である。これも今日では出來る役者がないといふのが本當だらう。が、時藏の得の容貌が兎に角役者的であるので、思つたより見た目は惡くない。ふん解る絹糸を手本にしたら。

ざつろく

この芝居の主要人物は大抵泣いてばかりゐる。袖萩、濱夕、熱塚は型としてもさ、これ位泣いてばかりゐる作は珍しい。一體がこれ泣きの芝居、涙の芝居である。それだけに陰性でもヤメはこまかいのがこの作の長所である。袖萩は祭文で「子を持つて知る親の恩」といふ。今度はこれをぬいてゐる？演

閉会「摩耶山時の歌」田田三郎氏等の講演あり▼無産美文運動盟の「京都七日の闘争」沼田親輔氏十五日夜茶話會を本部に開く▼農業書第二編として近く出版▼守田有秋氏「ユートピア集」を解放社より發▼「山崎驚氏」小石川宮下町廿七に轉居

×

「樹の間の道」の會 飯島貞氏の講演利行を明日十六日午後五時より本郷切通「江切亭」にて▼「巴」十一月創作「雨」を喫ぶ木下順二氏「淫問」▼「解放」十一月號「作家と日記」新井紀一▼「解放」十一月號「文藝春秋」「無風帯」刊行 十一月より上記の同人雑誌を深川櫻江町三ダルマ堂書店より發行

×

東京作曲家協會 新進作曲家の原納宗氏の優れた樂才を期待の爲め氏に新作の洋琴曲、獨唱曲三重唱曲の發表演奏會を廿一日夜六時から日本青年館に開催す

自由主義と協同組合
中產階級の社會的意義
自由主義と我國の勢働合
自由主義と我國の國稅策
自由主義と官業
自由主義と租稅制度
本の產業革命
國の人口及食糧問題
自由主義と教育
自由主義の理論

史論

四六判布裝釘
定價二四三十
送料金十二錢

濟科學

生命保險界の不振
△好順氣と米界の前途
△貯炭枯渴と石炭界
△減物不況と前途
一九〇七年の米國の金融恐慌

フラグ
樹地布團の男子・綿白米と肝芋・日西の高層建築・電話恐に仕掛けたラヂオセット・自動車の賃利用・紙育の千万長者・町・チェンバレーン氏とリンドバーグ大佐

地に固着せる國民生活 田中
高山の湖沼 阿部
富士山麓の熔岩窟 青木 與三郎
敵機襲來への備へ 中野 愛平
音による水深の測定 小林 介
船の安危を司どる舵の話 高山 五郎

東洋經濟新報社